

学校関係者評価報告書

【評価対象期間】 自：2023 年 4 月 01 日
至：2024 年 3 月 31 日
【評価基準日】 2024 年 4 月 01 日

学校法人ハリウッド美容専門学園
ハリウッドワールド美容専門学校

目 次

I	学校関係者評価の概要と実施状況	- 2 -
	1. 学校関係者評価の目的と基本方針	
	2. 学校関係者評価委員名簿	
	3. 学校関係者評価委員会の実施状況	
	4. 学校関係者評価委員会の実施方法	
	5. 学校関係者評価（自己評価結果）の評価の仕方	
II	学校関係者評価委員会報告	- 3 -
	1. 重点項目について	
	2. 基準項目について	

I 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的と基本方針

1) 目的

- ① 卒業生、関係業界、職能団体・専門分野の関係団体、高等学校、保護者・地域住民などの学校関係者が、ハリウッドワールド美容専門学校の自己点検・評価結果を評価することで、自己評価結果の客観性・透明性を高める。
- ② 学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。

2) 基本方針

学校関係者評価は、自己点検・評価報告書を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

2. 学校関係者評価委員出席者名簿

区分	氏名	所属（役職）
業界関係者	中山友久	タカラベルモント株式会社（九州営業部部長） （代理出席）
地域住民	梶島貞博	学生寮オーナー会（前会長）
卒業生	古賀亜由美	ヘアメイクマージュ（代表）
保護者	松藤由里子	美容学科1年生 保護者

※区分別、五十音順、敬称略

3. 学校関係者評価委員会の実施状況

実施日時：2024年6月1日（土）10：00～11：00

場 所：ハリウッドワールド美容専門学校 タワー棟校舎2階（会議室）

4. 学校関係者評価委員会の実施状況

学校関係者委員の皆様、2023年度の実績に対する自己点検評価の結果を学校から報告し、評価結果に対する意見を頂く。

5. 学校関係者評価（自己評価結果）の評価の仕方

2023 年度の自己点検・評価報告書に基づき、基準項目の自己評価結果および課題・解決方向について、下記のポイントに留意しながら評価を行った。

- (1) 自己評価結果の内容が適切かどうか
- (2) 今後の解決方向が適切かどうか
- (3) 学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
- (4) その他、学校の運営に関する助言

II 学校関係者評価委員会報告

1. 重点項目について

《学校の取り組み状況》

美容に係る多岐にわたる専門職（美容師、美容部員、エステティシャン、ブライダリスト）の育成の中核に美容師国家資格を置き、美容に纏わる専門職業人としてのキャリアを末長く歩んでいけるよう、多くの選択科目

（通称：専科）を開講している。専科による広い美容知識・美容技術の修得に加え、個々の美容技術を深化させるため、多くのコンテストにも参加し、高い成績を収めている。2022 年度は、全日本理容美容学生技術全国大会（理美容甲子園）にて金賞の日本一、全日本理容美容選手権全国大会において SILVER PRIZE をはじめとして、メイク及びブライダル等の受賞を含め年間 55 個の賞をいただくなど、史上初の快挙となった。

ワーキングアカデミーコースは、当校の教育方針やカリキュラムを深く理解いただいた多くのサロン様にご協力いただいている。保護者様からの金銭的なサポートを一切受けることなく自力で進学し国家資格が 2 年で取得でき、最短でスタイリストデビューできる日本で有数のコースとして、美容を目指す多くの学生を支援できるよう、協力サロン様や卒業生からの意見を反映しながら高度化している。

《評価委員からの意見》

リアルの大会が再開され始めて、学生にとっても活躍の機会が増える。各種大会など更なる活躍を期待している。

2. 基準項目について

基準 1 教育理念、目的、人材育成像

学校関係者評価結果： 適

《学校の取り組み状況・課題》

学校創設以来の建学の精神である「真心をもってよしとする」を、当校の学生・教員・職員の教育がなされた姿とし、その人材育成像を実現するために「よく学び、よく遊び、いつも感動」を教育方針として、学生ひとりひとりが決意した「入学の目的」を達成するべく教育実践を行っている。毎朝のホームルームでの「建学の精神」と「入学の目的」の唱和を行うことによって、高等教育機関でありながら、真心からのきめ細やかな躰指導の成果として、高校時代に欠席日数が過度であった学生が皆勤で卒業し、有名店に就職するなど、理念を具現化している。

課題としては、ソフトスキルの育成については可視化や腹落ちのしづらい部分が多いため、現代に生きる学生がセンスメイキングできる手法で伝え、2年間の学校生活を過ごす中で建学の精神や自己の新たな価値観や涵養していく必要がある。今後は、卒業生などに学生時代やこれまでのキャリアを振り返ってもらい動画を作成し、学校の中で伝えている重要な考え方や価値観が社会でどう生かされているかについて在学生及び入学前の希望者に実感してもらうことで実のある理念教育を行なっていく。

《評価委員からの意見》

卒業生として、今でも建学の精神「真心をもってよしとする」が強く印象に残っている。接客をする上でも大切にしており役立っている。

基準 2 学校運営

学校関係者評価結果： 適

《学校の取り組み状況・課題》

年度始めに基本方針を全職員に向けて発表し、基本方針をもとに各職員がそれぞれの役割に落とし込んだ目的を明確にし、目標を設定し、毎朝のミーティングと週2回の責任者会議で進捗の報告を行いながら、方針の達成に向けて取り組んでいる。技術の習得に関しては、定量的に測りうるため問題ないが、当校の育成された人材像を真に実現したことを示す成果が定性的であることが多く、定量的に測れないことが課題であるため、次年度以降は当校独自の評価指標を整理し、可能な限り正確な定量化の可能性を

模索する。

《評価委員からの意見》

評価委員からの意見はなし。

基準 3 教育活動

学校関係者評価結果： 適

《学校の取り組み状況・課題》

建学の精神、教育方針に沿いながら、教室内での授業による技能教育だけでなく、多彩な学校行事（校内コンテスト、ヴィダルサスーンセミナー、体育祭、球技大会など）を企画・実施し感性を育む教育を行っている。校外大会や校外イベントにも多数参加し、社会との繋がりを通じた教育活動や、理容師・美容師国家資格試験の内容だけではなく、幅広い理容・美容の知識・技術を習得できるようにするための多彩な選択科目を設け、卒業後即戦力として貢献できる人材の育成に勤しんでいる。今後は、技術向上のための校内コンテストにおいても外部の評価者に多数評価をいただくことで、校内のコンテストの質を向上させることができた。新しい技術の開発や業界の変化に対応していくために、サロン様との協力でデモンストレーション型の授業を多く開発することができた。

課題としては、昨今のテクノロジーの発達により場所を問わない学びを提供できるようになっている。今後は、現在のデモンストレーション型の授業も含め、より魅力ある教育課程を目指して、さらに充実させていく。

《評価委員からの意見》

評価委員からの意見はなし

基準 4 学修成果

学校関係者評価結果： 適

《学校の取り組み状況・課題》

2023 年度の理容師・美容師国家資格試験において、美容学科は合格率 96.9%、理容学科は合格率 100%と高い合格率を達成している。就職希望者においては、福岡はもとより東京や大阪など日本各地の名だたる有名サロンに就職するなど就職率 100%を達成している。各種大会においては、STYLING

COLLECTION において GOLD PRIZE と SILVER PRIZE の上位の表彰台を独占し、全国理容美容学生技術九州大会のワインディング部門にて満点優勝の快挙を達成するなど輝かしい成果をあげている。

課題としては、校外のコンテストの規模感が小さくなり、多岐にわたるコンテストが出てきているため、教育効果の高いコンテストを選別し出場する必要がある。学校主宰のコンテストを多数開催することで学生のモチベーション維持と自身の目的達成へのマイルストーンとなるように企画運営を行なっていく。

《評価委員からの意見》

評価委員からの意見はなし

基準 5 学生支援

学校関係者評価結果： 適

《学校の取り組み状況・課題》

奨学金の申請対応なども丁寧に行っており、学費の面でも特待生枠を広く準備している。寮費についても地域のオーナー様方の協力をいただき、安心して生活できる費用でご提供いただいている。進路に関しても、就職率 100% を達成するなど就職先の企業様と連携して進路支援を行なっている。課題としては、日常の学校運営における危機管理に関して、より高いレベルの危機管理を職員一人一人が担っていく必要がある。危機管理の対応に関して、当該年度において重大な学校事故を引き起こしてしまった教訓を元に、災害等の危機的状況でも継続して学習が行われる環境や体制の整備を行う必要がある。本年度に発生した事象下においても、カウンセラーを含めた学校内外の教職員及び関係者の協力の元で、学校経営及び運営において大きな支障がなく継続経営及び運営が達成された。今後は再発防止に向け、危機管理マニュアルの精緻化と継続性の高い取り組みを実施していく。

《評価委員からの意見》

評価委員からの意見はなし

基準 6 教育環境

学校関係者評価結果： 適

《学校の取り組み状況・課題》

毎年の設備投資により快適かつ高度な教育が行われるように教育環境を整備している。総敷地面積約 10,000 坪の広大な土地を活用し、3 つの充実した校舎でのびのびと活動できる環境を提供。2022 年度の新校舎オープンにより、サテライト校舎ができたため BCP 対策として機能している。課題としては、災害時の運用などを、危機管理ガイドラインを踏まえて細かく制度化していく必要があるほか、LED 化が進んでいない設備があるため、年度内に完了するように進めていく。

《評価委員からの意見》

評価委員からの意見はなし

基準 7 学生募集

学校関係者評価結果： 適

《学校の取り組み状況・課題》

学生募集に関しては、2023 年度は当校内で発生した事象により難しい状況ではあったが、その中でも九州・沖縄はもとより全国から多数の学生がを受け入れることができた。入学者選抜においても、受験者全員に対して面接試験を行い、アドミッションポリシーに該当する候補者かどうかを見極め、公正で適切な選抜を行なっている。課題としては、SNS を含めた様々な媒体を通しての認知向上が必要と認識しており、社会状況の変化等により広報戦略の見直しが必要であるため改善を行うほか、WEB 面接試験を含めた新しい選考方法を検討していく。

《評価委員からの意見》

2023 年度は満足にいなかった部分もあると思うが、今後は少子化も進み、どのように学生を募集していくかが肝心である。引き続き注力していただきたい。

基準 8 財務

学校関係者評価結果： 適

《学校の取り組み状況・課題》

財務基盤としては、安定的勝つ且つ継続的に学校運営を行なっていくために必要な流動資産を十分に蓄えている。毎年、教育環境の整備に必要な設

備投資をしながらも次期繰越金が残るよう経営を行っている。当該年度については、特別な事象で損失が発生しているが、教育活動の安定性には問題がない。課題としては、長期的な視野の資産管理が必要であるほか、長期的インフレの経済状況を見越した施策が必要になってくるため、安定的で確実な資産の運用を検討する。

《評価委員からの意見》

寮オーナー会の立場からの意見として、今年度は特別な事情により退寮生が発生した中でも、学校が各オーナーに対して費用を負担していただくなど、非常に良い運営が行われている。

基準 9 法令遵守

学校関係者評価結果： 適

《学校の取り組み状況・課題》

学校教育法および専修学校設置基準をはじめ、関係法令や学内規定によってコンプライアンスに配慮した学校運営を行なっているが、昨今の社会環境の変化による要請に応えることができるよう改善していく必要がある。社会情勢に対応すべく、学内の諸規定等の見直しを行い、教職員ひとりひとりが実行をしていく。

《評価委員からの意見》

評価委員からの意見はなし

基準 10 内部質保証

学校関係者評価結果： 適

《学校の取り組み状況・課題》

学校行事に多くの関係者に参加いただきながら質保証のためのご意見をいただいている。2023 年度もワーキングアカデミーコースの開始式には協力サロン様にご出席いただき、当該コースの目的とサロン様に求める役割を十分に認識いただくなど連携を図っている。地域の寮オーナーの皆様にもオーナー会を通して随時ご意見を頂戴し、様々な視点からの内部質保証のための取り組みを行っている。教育情報については、保護者様に対してメーリングリストアプリを活用し即時性のある情報の提供を行うとともに、高等教育機関としては稀な参観ウィークを設けて保護者様からのご意見を

いただく機会を設けている。今後は教育内容を正確に評価するための評価制度の構築が必要と認識しており、自己評価を含め評価制度の見直しを行っていく。

《評価委員からの意見》

評価委員からの意見はなし

基準 1 1 社会貢献・地域貢献

学校関係者評価結果： 適

《学校の取り組み状況・課題》

当校は開校以来、柳川地域の密着した活動を行っている。地域社会に対する還元として、学校周辺の美化活動などの実施するほか、エステコースの学生を主体として老人ホームやガン患者様のターミナル施設を訪問し、美容技術を活用したセラピーも行っている。さらに、地域の多くのイベントに協力参加し、社会貢献、地域貢献を実現している。学内に、ローターアクトクラブも設置し、メンバーとしてのボランティア活動なども行い国際貢献も実施している。但し、イベント参加の引き合いが多くいため、全てのイベントに参加することが困難となっている。地域のイベント等の日程を考慮しながら学校年間行事やカリキュラムのスケジュールを次年度以降考えていく必要がある。なお、2023 年度は地域の重要な医療を担う病院とのコラボレーションで、当校内でシニアファッションショーを実施する予定としている。現在でも市内外から多数の参加希望をいただいております、大変期待をしていただいている。昨年度は地域から多大なる支援をいただいたため、学校としてより地域に貢献ができるよう企画立案を行い、実施していく。

《評価委員からの意見》

素晴らしい取り組みであり、是非今後も続けていただきたい。

基準 1 2 国際交流

学校関係者評価結果： 適

《学校の取り組み状況・課題》

当校は、韓国美容専門学校 BBS グループと二十年以上の姉妹校交流を行っており、BBS グループ研修団の来校の際には学生間の技術交流だけでな

く、懇親会における文化交流も実施している。さらに、BBS グループを通しての韓国人留学生の受け入れも実施し、現在三名の学生が日本の美容技術習得のために研鑽している。日本人の学生に向けても、韓国の美容留学のための日本初のプログラムを設置したため、第一期生の送り出しに向けて入念な準備を行なっていく。今年度は学生交流の相互渡航も再開し、韓国訪問団の研修も実施、当校学生の韓国での研修も実施できた。また、2021 年度よりグローバルビューティーアカデミーコースを充実させ、国際的な学習環境を整えている。今年度内に 3 回の海外研修を予定しているため入念な準備を行なっていく。

《評価委員からの意見》

評価委員からの意見はなし